

KN グローカルリサーチレポート 2020年1月 No.45



令和2年 あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

今年最大のイベント「東京オリンピック&パラリンピック」に、多くの外国人が来日します。表1のように、訪日外国人客は増え続けており、2018年には3,000万人を超えました。

表1 訪日外国人客数 単位:千人

2015	2016	2017	2018	2019*
19,737	24,040	28,691	31,192	29,356

2019年は11月までの累計 出典:日本政府観光局

ご自身のビジネスの顧客対象に訪日外国人を加えたり、訪日外国人への新しいビジネスをお考えの方も多いのではないでしょうか？

外国人の静岡県での宿泊は、年間約180万人で、その7割が中国人

国土交通省中部運輸局によると、静岡県の外国人延べ宿泊者数は今年9月までで約179万人と、既に2018年と同数となった。過去に落ち込んでいたが回復傾向にある。

表2 外国人延べ宿泊者数 単位:万人

	2014	2015	2016	2017	2018	2019*
静岡県	79	174	157	150	179	179
愛知県	149	235	239	254	285	260
中部5県	308	547	538	542	654	582
全国	4,483	6,561	6,939	7,969	9,428	7,698

*2019年は9月までの累計

出典:中部運輸局観光部

【外国人宿泊＝中国人が約7割】

2018年の外国人宿泊客の国籍を見ると、全国では中国人が27%、韓国人が14%、台湾人が14%等となっている。

静岡県を訪れる外国人は、中国人が最も多く全外国人の7割近くを占める。

表3 外国人延べ宿泊者の国籍別割合 単位:%

	中国	韓国	台湾	香港	米国	欧州
静岡県	65	5	7	2	3	3
愛知県	49	6	10	6	3	2
中部5県	49	6	11	6	3	4
全国	27	14	14	7	7	6

*2018年1月～12月の累計の割合

出典:中部運輸局観光部

【富士山静岡空港】

表4は富士山静岡空港の搭乗者数である。国内線は毎年増加を続け2018年は約42.5万人となった。国際線は、2015年に約39万人であったが、ここ数年30万人を下回っている。

中国からの搭乗者は、2015年は中国17都市と航空路線があり約27万人であった。2017年は5都市からの約16万に減少したが、2018年は5都市から約18.6万人に回復し、増加傾向にある。

表4 富士山静岡空港の搭乗者数 単位:人

	2015	2016	2017	2018
札幌	81,166	83,804	96,593	95,499
福岡	126,896	138,601	157,362	160,407
鹿児島	23,363	38,638	38,972	41,220
沖縄	68,656	69,928	77,350	81,695
チャーター他	9,002	3,931	4,057	7,763
国内線計	309,083	334,902	375,322	425,451
ソウル	39,667	52,421	82,363	68,631
中国	272,303	173,472	158,768	186,409
台湾	51,870	47,804	51,097	29,958
チャーター他	25,729	2,762	2,496	3,790
国際線計	389,569	276,459	294,724	288,788
総計	698,652	611,361	670,046	714,239

出典:静岡県空港振興局の資料から作成

以下、静岡県に来る訪日外国人の約7割を占める中国人について調査結果から考察する。

訪日外国人の一人当たりの旅行支出:約15万円 (中国人は約22万円)

観光庁の直近(2019年4月～6月)の「訪日外国人消費動向調査」によると、訪日外国人の1人1回当たりの旅行支出の平均は154,967円(平均泊数は8.0)であった。

支出額が最も多いのはフランスで、以下イギリス、オーストラリア等となり、泊数の多い欧米が上位を占めるが、中国は4番目の224,174円となっている。

表5 訪日外国人1人当たり旅行支出と旅行消費額

	(a)1人当たり 旅行支出(円)	(b)旅行者数 (b)(人)	旅行消費額 (a×b)(億円)	平均 泊数(日)
フランス	242,437	98,118	238	15.9
イギリス	237,353	100,806	239	11.1
オーストラリア	233,424	151,480	354	11.3
中国	224,174	2,002,354	4,489	6.9
スペイン	217,933	33,556	73	10.4
ドイツ	198,760	62,904	125	14.2
米国	189,064	498,098	942	10.8
シンガポール	170,424	120,705	206	7.1
インド	164,917	52,597	87	15.8
ロシア	162,463	32,059	52	14.9
ベトナム	149,242	130,286	207	29.9
マレーシア	135,146	117,714	159	7.9
タイ	134,466	335,059	451	7.2
台湾	119,157	1,165,867	1,389	6.2
韓国	69,102	1,770,615	1,224	3.7

出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査2019年4-6月」から作成

【中国人=買物費】

訪日外国人は、表6のように支出の約30%を宿泊費に、約20%を飲食費に、約35%を買物費に充てている。滞在が長い欧米人は宿泊費や飲食費の割合が高くなり、アジアからの訪日客は買物費の割合が高い。特に、中国人は支出の約半分を買物費に充てている。

表6 旅行支出の平均(円)

宿泊費	45,534 (29.4%)
飲食費	33,147 (21.4%)
交通費	15,593 (10.0%)
娯楽費	5,096 (3.3%)
買物費	55,576 (35.9%)
その他	21 (0.0%)
合計	154,967 (100.0%)

出典:表5と同じ



訪日外国人消費動向調査 報告書↑

【買物費の内訳】

菓子類が購入率69%で購入単価が8,187円となっている。以下、化粧品42.4%(33,948円)、飲料たばこ38.5%(8,358円)、医薬品37.5%(15,892円)となっている。

以前は、中国人による電気製品等の「爆買い」が話題になったが、直近の調査では、表7のように、約8割が化粧品香水を、約6割が医薬品を購入している。また、一部は時計カメラや宝石などの単価の高い高級品を購入していることがわかる。

表7 購入率(%)と購入単価(円)

	全訪日外国人平均		中国人	
菓子類	69.0%	8,187	75.8%	9,887
酒類	19.9%	7,754	13.7%	14,943
生鮮農産	6.5%	4,625	3.7%	4,318
飲料たばこ	38.5%	8,358	39.0%	11,882
化粧品香水	42.4%	33,948	83.6%	54,577
医薬品	37.5%	15,892	58.1%	24,453
健康グッズ等	16.8%	16,797	27.1%	21,013
衣類	35.9%	19,658	39.0%	30,467
靴かばん	20.8%	32,261	26.3%	60,141
電気製品	7.6%	26,074	13.0%	31,100
時計カメラ	2.9%	88,997	5.8%	105,140
宝石	1.5%	48,660	1.8%	129,967
民芸品	10.0%	8,730	8.7%	10,284
本雑誌	4.5%	4,962	4.7%	4,284
音楽ゲームソフト	2.5%	14,208	2.8%	14,561
その他	7.0%	16,980	6.0%	26,776

出典:表5と同じ

執筆 = 西川公一郎:元浜松市議会議員、防災士
(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長

浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org